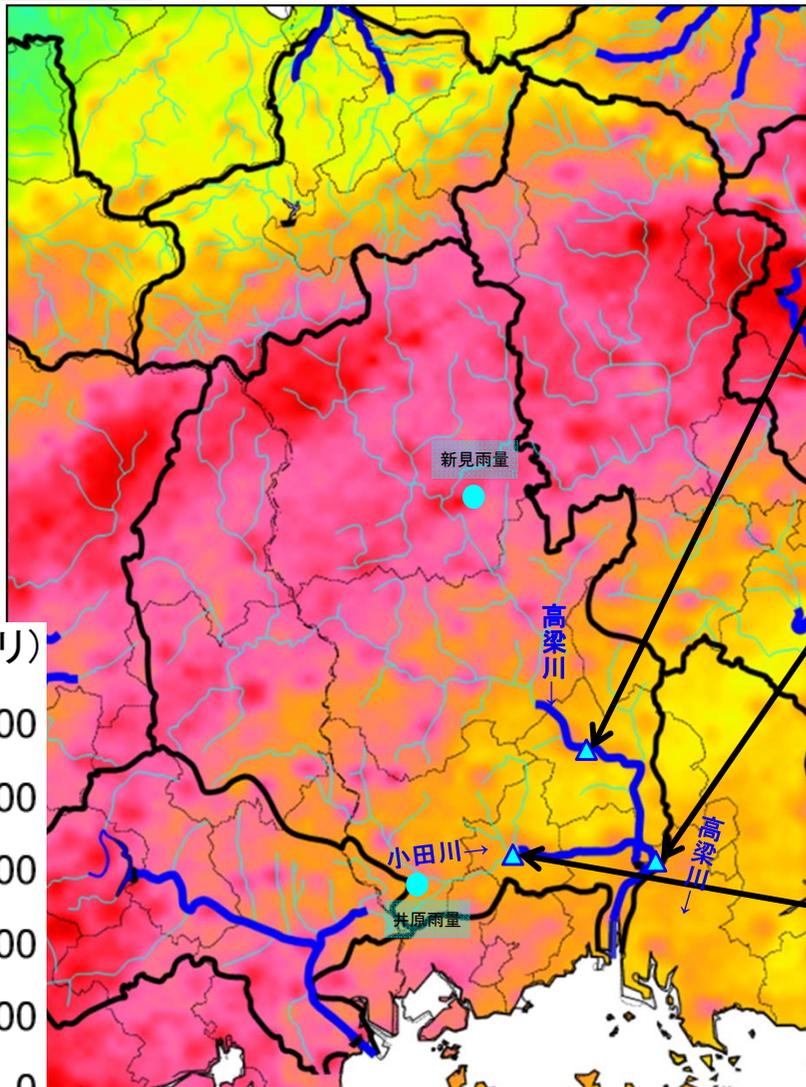


3. 岡山県倉敷市真備町の被害状況と対応 (高梁川水系小田川)

高梁川水系高梁川、小田川流域の雨量・水位概況

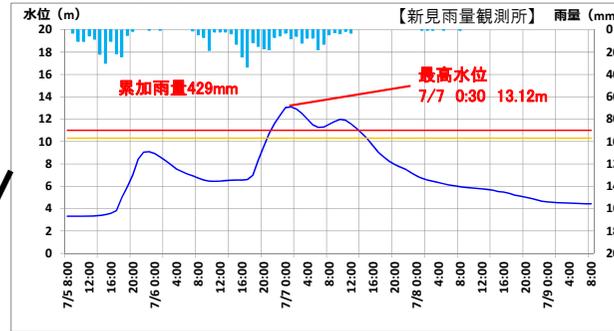
- 7月5日(木)から7日(土)にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、この前線へ向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活発な活動が続いたため、高梁川流域でも断続的に非常に激しい雨が降り、多いところでは降り始めからの累加雨量※が400mmを超えました。
- 高梁川水系高梁川の白羽水位観測所、酒津水位観測所及び小田川の矢掛水位観測所において氾濫危険水位を超過し、観測史上最高水位を記録しました。

雨量分布図

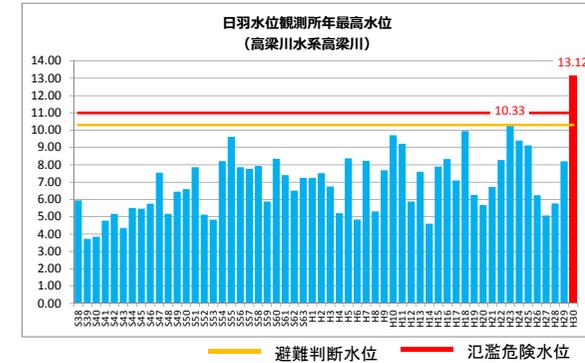


※雨量分布図は広島地方気象台提供
(7/5 0:00~7/9 9:00の降水量)

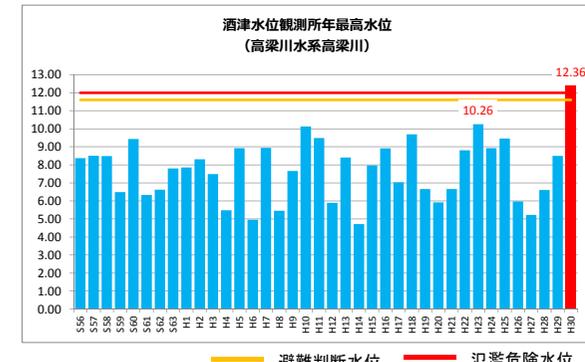
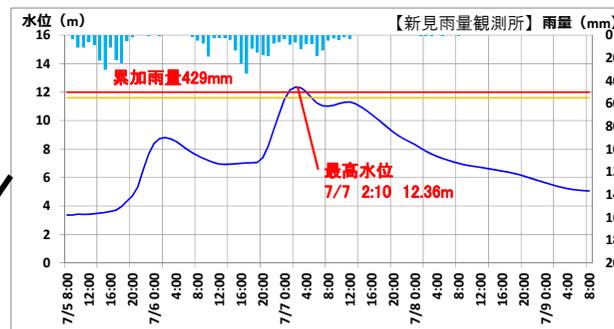
高梁川水系高梁川 白羽水位観測所



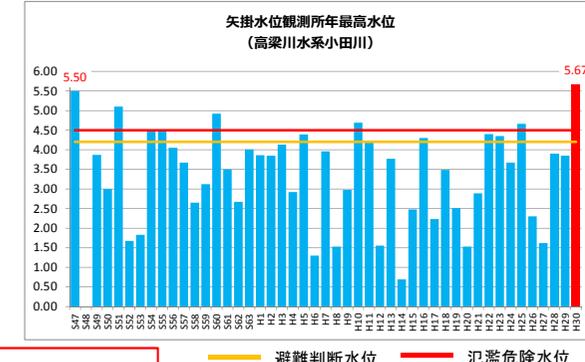
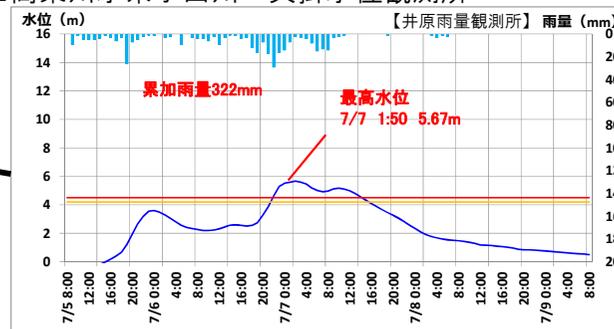
※高梁川流域の国土交通省及び気象庁の雨量観測地点のうち、新見雨量観測所(気象庁)など3地点で累加雨量400mmを超過。



高梁川水系高梁川 酒津水位観測所



高梁川水系小田川 矢掛水位観測所



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

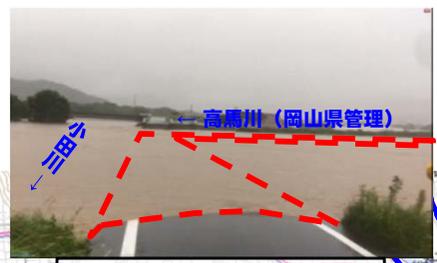
被災状況(高梁川水系小田川)

■高梁川水系小田川では倉敷市真備町で堤防が決壊し、大規模な浸水により甚大な被害が発生したほか、堤防の欠損等が多数発生しました。



＜小田川(国管理区間等)の被災状況＞
 ※国管理区間に流入する県管理区間も含む

浸水面積 : 約1,200ha(7/7AM)
 浸水戸数 : 約4,600棟(7/11 8:00現在)
 堤防の決壊 : 2箇所(国管理)
 6箇所(県管理)
 堤防法崩れ : 6箇所(国管理)
 1箇所(県管理)
 越水 : 4箇所(国管理)



【越水】
右岸7k000付近

【越水】
右岸4k000付近

【越水】
右岸2k600、3k200付近

凡例
 ×: 堤防の決壊
 ▲: 堤防欠損等
 ●: 越水

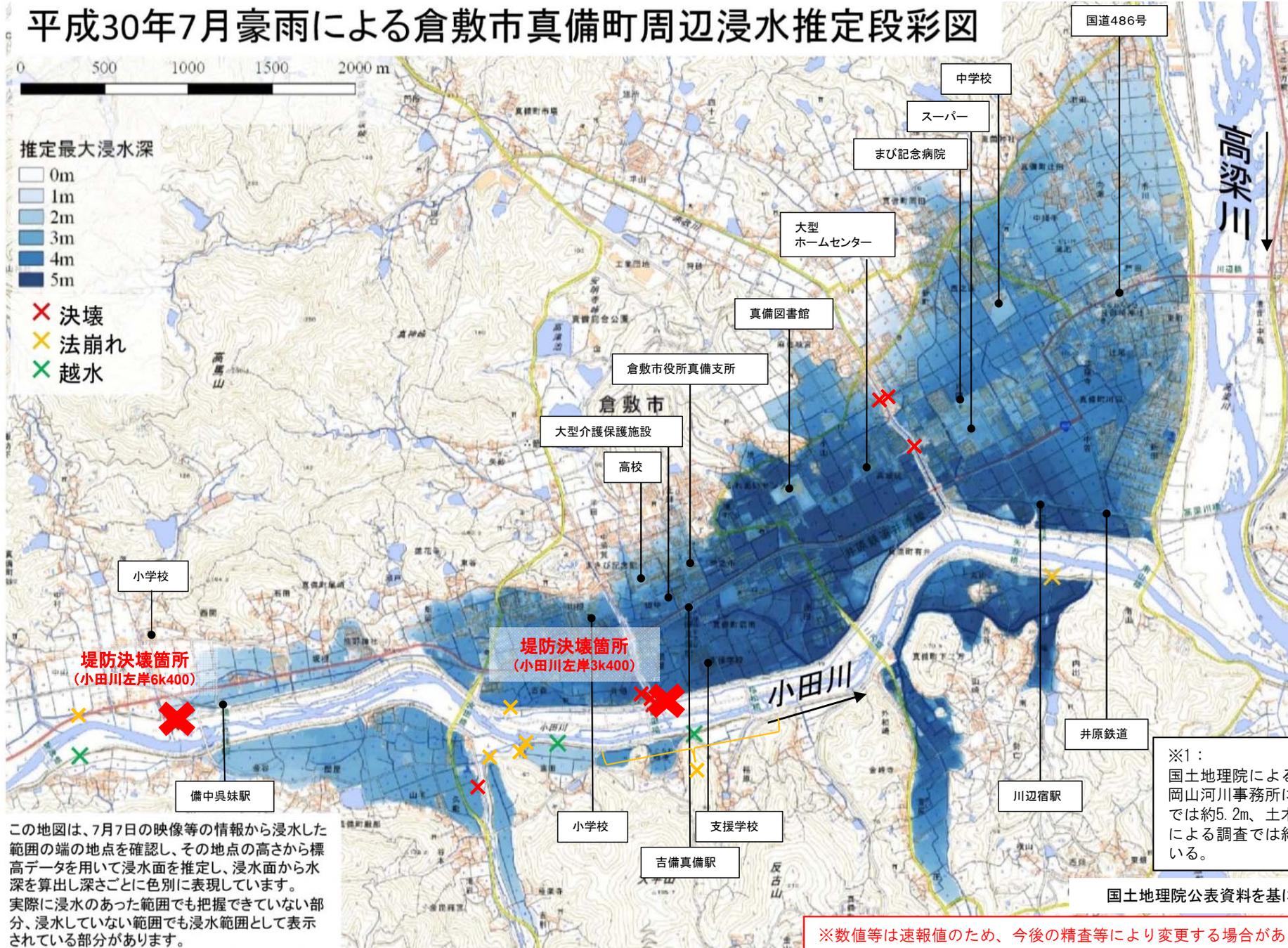
※7/16 15:00時点
県管理区間を含む

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

氾濫状況(高梁川水系小田川)

■小田川等の堤防決壊により、介護施設、病院、学校等が浸水し、**浸水深は最大で約5m※1**に達したものと推定されます。

平成30年7月豪雨による倉敷市真備町周辺浸水推定段彩図



※1：
国土地理院による推定では約4.8m。
岡山河川事務所による痕跡調査結果では約5.2m、土木学会の災害調査団による調査では約5.4mと推定されている。

国土地理院公表資料を基に作成

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

氾濫状況(高梁川水系小田川左岸3k400)

■小田川左岸3k400付近の堤防決壊のほか、支川の^{たかまがわ}高馬川(県管理区間)においても2箇所です堤防が決壊し、多数の家屋等が浸水しました。



7/8 15:00頃

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

氾濫状況(高梁川水系小田川左岸6k400)

■小田川左岸6k400付近で堤防が決壊し、多数の家屋等が浸水しました。



7/8 15:30頃

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

堤防等の主な被害(高梁川水系小田川右岸0k600 堤防裏法崩れ)

■小田川右岸0k600付近で堤防の裏法崩れが発生しました。



浸水区域と排水状況(高梁川水系小田川)

■小田川堤防等の決壊に伴う浸水区域の排水活動は、中国地方整備局のほか、関東・北陸・中部地方整備局からTEG-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の応援を受け、排水ポンプ車23台、照明車11台により24時間体制で実施し、7月11日(水)までに宅地・生活道路の浸水が概ね解消しました。



○浸水面積

7月 7日AM	約1,200ha (赤線: 7月7日AM時点)
7月 9日AM	約 500ha (緑線: 7月9日AM時点)
7月 11日	宅地・生活道路については概ね解消



※今後、降雨があった場合にも迅速に対応できるよう、現地には排水ポンプ車6台、照明車3台を待機中

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

堤防決壊箇所の緊急対策工事(高梁川水系小田川左岸3k400等)

■小田川左岸3k400及び支川高馬川^{たかまがわ}右岸小田川合流点付近(倉敷市真備町箭田地先)^{まびやた}の堤防決壊箇所において、24時間体制で緊急対策工事を実施しました。

7月7日22時 緊急対策工事着手
7月9日 堤防締切盛土着手
7月15日23時 堤防締切盛土完了

7月21日10時 鋼矢板による二重締切堤防完了(緊急対策工事完成)

完 成

緊急対策工事状況 【被災直後】



堤防決壊箇所の緊急対策工事(高梁川水系小田川左岸6k400)

■小田川左岸6k400(倉敷市真備町尾崎地先)の堤防決壊箇所において、24時間体制で緊急対策工事を実施しました。

- 7月8日14時30分 緊急対策工事着手
- 7月9日 堤防締切盛土着手
- 7月15日16時 堤防締切盛土完了
- 7月19日14時 鋼矢板による二重締切堤防完了(緊急対策工事完成)

完 成

緊急対策工事状況 【被災直後】



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

堤防裏法崩れ箇所の緊急対策工事(高梁川水系小田川右岸0k600)

■小田川右岸0k600(倉敷市真備町川辺地先)の堤防裏法崩れ箇所において、24時間体制で緊急対策工事を実施しました。

7月8日
7月16日17時

緊急対策工事着手
緊急対策工事完成

完 成

堤防裏法崩れ状況(7月7日)



緊急対策工事完成状況(7月16日)



夜間施工状況



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

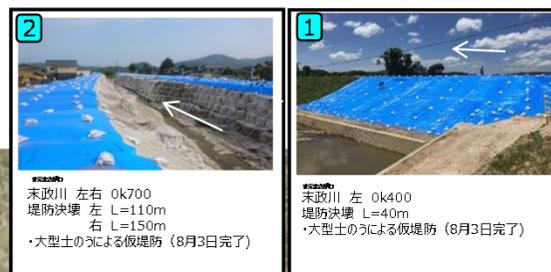
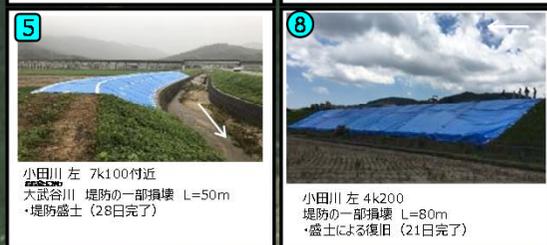
応急対策工事の進捗状況と広報(高梁川水系小田川)

■小田川堤防等の決壊以外にも堤防が多数被災したため、**順次応急対策を実施**し、8月3日(金)に**全ての応急対策工事が完了**しました。
■応急対策工事の進捗状況については、倉敷市真備町の商業施設、支援物資配布場所、倉敷市真備支所の3箇所にて**掲示**し、住民の皆様等にお知らせしました。

応急対策工事の進捗状況

※県管理区間も含む

進捗状況の掲示



- 凡例
- ① 国交省施工
 - ① 岡山県施工
 - 完成
 - × 決壊
 - ◇ 堤防の一部損傷

- 危機管理型水位計 凡例
- △ 国交省施工
 - ① 岡山県施工
 - ▲ 完成



空中写真(垂直写真)出典:国土地理院ウェブサイト
(<http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H30.taihuu7gou.html>)



商業施設



支援物資配布場所(真備総合公園)



倉敷市真備支所

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

高梁川水系小田川堤防調査委員会

- 平成30年7月豪雨により発生した、国管理河川である高梁川水系小田川、並びに岡山県管理河川である小田川支川末政川、高馬川及び真谷川(いずれも岡山県倉敷市真備町)の堤防決壊に対し、被災原因の究明とともに、復旧工法等の検討のため、「高梁川水系小田川堤防調査委員会」を設置しました。
- 堤防の本格的な復旧に向け、堤防調査委員会において専門家の助言を得ながら適切な復旧工法を早急に決定します。



- 凡例
- × : 決壊(国)
 - × : 決壊(県)
 - : 越水
 - ▼ : 法崩れ(国)
 - ▼ : 法崩れ(県)
 - ▲ : 漏水(噴砂)



被災位置および被災内容(国管理区間)

位置	被害名	備考
左岸3.4k付近	決壊	L=100m
左岸4.2k付近	法崩れ	L=80m、裏法崩れ
左岸4.2k付近	漏水(噴砂)	法崩れ位置より上流
左岸6.4k付近	決壊	L=50m
右岸0.6k付近	法崩れ	L=30m、裏法崩れ
右岸2.6k付近	越水	
右岸3.2k付近	越水	
右岸2.8k~3.8k付近	法崩れ	L=1,000m(点在)、裏法崩れ
右岸4.0k付近	越水	
右岸4.2k付近	法崩れ	L=15m、裏法崩れ
右岸4.2k付近	法崩れ	L=16m、裏法崩れ
右岸4.4k付近	法崩れ	L=70m、裏法崩れ
右岸7.0k付近	越水	

被災位置および被災内容(岡山県管理区間)

位置	被害名	備考
末政川左岸0.4k付近	決壊	L=20m
末政川左岸0.7k付近	決壊	L=200m
末政川右岸0.7k付近	決壊	L=300m
高馬川左岸0.0k付近	決壊	L=20m
高馬川右岸0.1k付近	決壊	L=100m
真谷川左岸0.3付近	決壊	L=100m
大武谷川(合流点)	法崩れ	L=50m、裏法崩れ

高梁川水系小田川堤防調査委員会 委員名簿

氏名	所属	分野
佐々木 哲也	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員	土質分野
竹下 祐二	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授	地盤・地質分野
西垣 誠	岡山大学大学院環境生命科学研究科 特任教授	地盤・地質分野
福島 雅紀	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室 室長	河川分野
前野 詩朗	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授	河川分野
森 啓年	山口大学工学部社会建設工学科 准教授	地盤分野
吉田 圭介	岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授	河川分野

地図の出典: 国土地理院ウェブサイト

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

(50音順)

『高梁川水系小田川堤防調査委員会』の開催状況

【第1回委員会】小田川左岸3k400付近及び6k400付近での現地調査状況（7月10日）



3k400付近



3k400付近



6k400付近



【現地調査箇所】

小田川左岸6k400付近
(真備町尾崎地区)

【現地調査箇所】

小田川左岸3k400付近
(真備町箭田地区)

現地調査後に調査委員会委員からの
報道関係者へのブリーフィングを実施

【第2回委員会】開催状況（7月27日）



開催状況



開催状況



委員長から報道関係者へのブリーフィング

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

倉敷市真備町でのTEC-FORCEの活動状況

■倉敷市^{まび}真備町では、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)により、浸水箇所の排水活動のほか、生活道路の土砂撤去、災害対策基本法に基づく放置車両の移動、散水作業、水路啓開作業等を実施しました。



土砂撤去作業



災害対策基本法に基づく車両の移動



支障物撤去作業



散水作業



水路啓開作業

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

高梁川本川の被災状況

高梁川水系高梁川下流部(本川)でも、**内水による家屋等の浸水被害が発生したほか、護岸損壊、漏水が発生しました。**
また、高梁川上流部の県管理区間においても**堤防が決壊するなど、家屋等の浸水被害が発生しました。**

<高梁川(国管理区間)の被災状況>
堤防欠損等：4箇所

【堤防決壊】L=70m
高梁川右岸28k付近(県管理区間)



【堤防決壊】L=60m
高梁川右岸28k付近(県管理区間)



【漏水】L=750m
高梁川 左岸14k200付近



凡例
 : 内水
 : 堤防の決壊
 : 堤防欠損等

内水被害については、自治体(7/30時点)からの聞き取りにより図示したものであり、詳細は不明



【漏水】L=800m
高梁川 左岸16k300付近



【護岸損壊】L=100m
高梁川 右岸14k600付近



【護岸損壊】L=150m
高梁川 右岸2k600付近



数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。